



2010～11 年度
国際ロータリー会長

レイ・クリンギンスミス

Weekly Report Niigata



2010～11 年度
新潟ロータリー会長

樋熊 紀雄

新潟 RC 12 月第 3 例会 (2010.12.21) No.2878

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 樋熊 紀雄会長挨拶

上半期の反省

2010-2011 年度がスタートして半年が経過しました。

当クラブは2010年4月23日創立70周年の記念事業として記念講演、祝賀行事が盛大に挙行されましたことは、記憶に新しいところです。そのとき編集された記念誌は、これまで70年間培った歴史の重みを感じずる内容でありました。この歴史のあるクラブに新たな気持ちになって少し変革をなど大それた考えで「入りて学び、楽しみそして奉仕」と、そして、ロータリー・クラブの原点は親睦そして奉仕、例会に出席したいと思える例会の開催という目標、方針を掲げました。

肩に力が入りすぎ、つい早口になってしまい、お聞き苦しい点が多々あったように思います。後半の課題です。

お蔭様で、会員の皆様のご協力によりまして、半年間を何とか乗り切ることができました。深く感謝申し上げます。

今週は、社会奉仕委員会の二つのプログラムが予定されています。

本日は、地域奉仕委員会によりまして、ロータリー保育園のクリスマスプレゼントに例会の後訪問いたします。園児の喜びに接することで英気をいただいてよいと思います。

12月23日は、市内5つのインターアクトクラブによりまして「クリスマス、年末・年始愛の献血キャンペーン」が開催されます。例年万代町で開催されておりました会場を、今年は古町7番町の古町モールでおこなうことになりました。古町活性化の一旦となればと期待を掛けているところです。休日ではありますが、ロータリアンの皆様には、是非お出かけいただいて、キャンペーンを盛りあげ、この時期不足がちな献血にご協力していただきたいとお願いするところです。なお忘年会シーズンですが、前日はアルコールを控えめにさせていただくほうがよろしいかと思います。

「ポール・ハリス語録」から、社会奉仕を避けようとする人が立派な市民と主張するのが正当でないように、クラブの区域である都市の福祉に無関心なロータリー・クラブは、申し分のないロータリー・クラブの域に達していません。(ロータリアン誌、1915年11月号)

地域に眼を向け、小さなことであっても地域に根を下ろした取り組みが必要に思います。

2011年もよろしく願いいたします。

(3) 委員会報告

- ・小柳実君へマルチプル・ポールハリスフェロー・ピン贈呈
- ・西村 IA 委員長 12月23日 IA 献血活動に会員並びに社員の方のご協力をお願い致します。ご参加頂いたロータリアンはメイクアップ扱いとなります。
- ・小柳親睦委員長より1月25日新年家族会参加のお誘い
- ・川崎 嘉朗地域奉仕委員長 例会後、ロータリー保育園を訪問します。
- ・柴田 史郎ゴルフ同好会会長
「ゴルフ同好会の活動報告と今後の活動方針」
同好会は2010年9月に47名の参加を得て正式発会いたしました。同好会会員同士の親睦を図るだけでなく、前橋RCを始めとして他クラブとの懇親の手立てとしても活用したいと考えています。9月23日の発会記念コンペは相沢信介さんが優勝されました。同好会のモットーは「清く、正しく、美しく」であります。特に立ち居振る舞いを美しくしたいものです。今年の前橋RCとの懇親コンペは台風のため中止になりましたが、今後は前橋とのコンペ以外にも年数回のコンペを予定しています。会長柴田史郎、副会長高橋康隆、幹事加賀田亮一、会計福地利明の4名で同好会を軌道に乗せるべく力を尽くしてまいります。年会費などはいただきません。同好会名簿、年間スケジュール、競技細則などをいずれご案内いたします。皆様のご支援をお願い致します。

(4) 幹事報告（石川 治彦幹事）

12月28日と1月4日は 規定休会につき例会を開催致しません。

2011年世界大会案内が届いています。詳細は事務局におたずね下さい。

上半期、至らぬ部分があり反省しています。後半も何とか職務を果たせる様頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

(5) 会員スピーチ

「海・山・大地のために ～私たちのCSR活動～」

農林中央金庫新潟推進室室長 高山景君

1月11日の例会予定

卓話 「脳血管障害の血管内治療」

新潟市民病院 院長 小池哲雄氏

ホームページを更新致しました！

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>